

2026（令和8）年度
香川県立保健医療大学大学院
保健医療学研究科
博士前期・後期課程
看護学専攻

学生募集要項

- 出願期間 2025（令和7）年10月1日（水）～10月8日（水）
- 試験期日 2025（令和7）年10月18日（土）



香川県立保健医療大学

The Graduate School of Kagawa Prefectural University of Health Sciences

博士後期課程

目 次

I	募集人員	1
II	選抜区分	1
III	出願資格	1
IV	事前相談	2
V	出願資格審査	2
VI	出願手続	4
VII	入学願書等の記入要領	10
VIII	選抜方法等	11
IX	合格発表	13
X	入学手続等	14
XI	ホームページ	15
XII	問い合わせ	16

保健医療学研究科

I	基本理念・目的	17
II	アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー	17
III	博士後期課程(看護学専攻)の概要	18
1	専攻の名称及び構成	18
2	学位の名称	18
3	授業科目一覧	19
4	修了要件等	20
5	授業科目の概要	20

I 募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
保健医療学研究科	看護学専攻	2人（社会人選抜を含む。）

II 選抜区分

「一般選抜」及び「社会人選抜」を行います。ただし、出願できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

III 出願資格

1 一般選抜

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び2026（令和8）年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026（令和8）年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ア 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院研究科において、当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - イ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育の16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026（令和8）年4月1日までに24歳に達している者

※ 出願資格(7)又は(8)により出願を希望する者は、出願前に個別の出願資格審査が必要です。(「V 出願資格審査」を参照してください。)

2 社会人選抜

社会人選抜の出願者は、「1 一般選抜」の出願資格のいずれかに該当し、医療・保健・福祉施設、教育機関、官公庁、企業等において3年以上の専門的な実務経験(通算可)を有する者(2026(令和8)年3月31日までに該当する見込みの者を含む。)

注 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

社会人の方が働きながら学べるよう、大学院設置基準第14条の規定により、必要に応じて、夜間、土曜その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行う途を設けています。

また、申し出により標準修業年限(3年)を超える一定期間の計画的な履修を認めることも可能としていますので、希望される方は、次の「IV 事前相談」における相談の際に、あわせて教員に相談してください。

IV 事前相談

出願を希望する者は、全員、出願前に入学後の研究等について、教員と相談することが必要です。事前相談をせずに出願することはできません。

希望する特別研究の専門領域と教員の選択に当たっては、**研究領域に関連する専門科目**「講義等の内容」(23～25ページ)を参照してください。

事前相談の申込みは、2025(令和7)年8月5日(火)～9月17日(水)までに、香川県立保健医療大学事務局教務・学生担当(TEL087-870-1212)まで連絡し、希望する教員と事前相談を行ってください。なお、この申込みの受付時間は、午前9時から午後5時まで(土曜、日曜及び祝日を除く)とします。

また、次の「V 出願資格審査」を希望する者は、当該申請前まで(2025(令和7)年9月17日(水)まで)に事前相談をすませておく必要がありますので、留意してください。

V 出願資格審査

一般選抜出願資格(7)又は(8)(社会人選抜で一般選抜出願資格(7)又は(8)に該当する者を含む)で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の審査を行いますので、「2 提出書類」を封筒(封筒表面に「保健医療学研究科出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください)に入れ、「**簡易書留郵便**」で郵送又は持参してください。

1 申請期間

2025(令和7)年9月3日(水)から9月17日(水)まで

- ・ 郵送する場合 9月17日(水)**午後5時必着**とします。
- ・ 持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けません。

2 提出書類

提出書類のうち、「大学ホームページからダウンロード」と記載のある書類は、本学ホームページ (<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>) からダウンロードして印刷・記入してください。

(「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→
「看護学専攻 博士後期課程」→「募集要項・出願書類」)

- (1) 出願資格審査申請書(大学ホームページからダウンロード)
- (2) 最終出身学校等の卒業(修了)又は卒業(修了)見込証明書
- (3) 最終出身学校等の成績証明書又は調査書等(出身学校等の長が作成し、厳封したもの)
- (4) 看護師、保健師、助産師の実務経験を有する者は、その免許証の写し
(A4サイズに縮小のこと)及び在職期間証明書(大学ホームページからダウンロード)
- (5) 審査結果通知返信用封筒(長形3号の封筒の表面に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、460円分(簡易書留料金含む)の郵便切手を貼付したもの)

※1 上記書類の作成に際しては、「VI-2【STEP4】提出が必要な出願書類等」の摘要欄及び「VII入学願書等の記入要領」を参照してください。

※2 **申請書類受理後は、提出された書類は、理由のいかんを問わず返還しません。**

※3 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。

※4 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。

3 提出先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

4 審査結果の通知

出願資格の審査結果は、本人あてに郵送します。

2025(令和7)年10月1日(水)までに届かない場合は、前記「3 提出先」に電話で照会してください。なお、認定された方は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

VI 出願手続

1 出願期間及び出願方法

2025（令和7）年10月1日（水）～10月8日（水）まで

- ・郵送する場合 10月8日（水）**午後5時必着**とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。
ただし、土曜、日曜及び祝日は受け付けません。

出願は、上記期間内に①「香川県電子申請・届出システム」でのインターネット出願登録、②入学選考料の納付、③出願書類等の提出によって完了します。（①②③のすべてを行わなければ出願が受け付けられません。）

※ 「香川県電子申請・届出システム」は、緊急の作業等のためシステムを停止する場合がありますほか、受付期間終了の直前はシステムが混み合う可能性があるため、余裕をもって申し込みください。なお、使用される機器や通信回線上の障害等によるトラブルについては一切責任を負いません。

2 出願の流れ

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	
出願前 の確認	・利用者登録 ・インターネット出願登録	入学選考料 の 納 付	出願書類等 の 提 出	・受験票の受取 ・受験

【STEP 1】出願前の確認

○必要なインターネットの環境

「香川県電子申請・届出システム」を利用してインターネット出願登録を行います。下記 URL 又は QR コードからアクセスしてください。なお、必要なインターネットの環境やシステムの使い方は、システム内の「ヘルプ」を参照してください。

香川県電子申請・届出システム

URL : https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_initDisplay

大学ホームページからもアクセスできます。

URL : <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>

（「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→

「看護学専攻 博士後期課程」→「インターネット出願登録を行う」）

香川県電子申請・届出システム	大学ホームページ
	

○印刷できる環境の確認

入学願書等のファイルを印刷する必要があるため、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境を事前に確認してください。

【STEP 2】利用者登録・インターネット出願登録

※今後変更になる場合がありますので、最新情報は「香川県電子申請・届出システム」で確認してください。

○利用者登録

「香川県電子申請・届出システム」の「利用者登録」において、利用者情報を登録してください。利用者登録せずに、インターネット出願登録を行うことはできません。

- ・利用者登録説明を読み、同意して進んでください。
- ・利用者区分、メールアドレスを入力して、登録してください。
- ・登録後にメールが送信されますので、メールを確認し、記載された URL より利用者情報登録（パスワード、氏名、住所等）を行ってください。

○インターネット出願登録

「香川県電子申請・届出システム」にアクセスして、インターネット出願登録を行ってください。

「香川県電子申請・届出システム」の操作方法・不明点に関する照会先	・「香川県電子申請・届出システム」画面上段の「ヘルプ」をクリックし、操作方法を確認してください。 ・不明点がある場合は、「ヘルプ」をクリックし、「よくあるご質問」又は「ヘルプ一覧」から照会してください。
----------------------------------	---

- ・「手続き申込」の検索キーワード欄に「香川県立保健医療大学大学院」と入力し、手続き一覧に表示された「2026（令和8）年度香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 インターネット出願登録」をクリックしてください。
- ・（ログインしていない場合）「利用者登録」にて登録した ID・パスワードを入力して、ログインしてください。
- ・手続き説明をすべて読み、同意して進んでください。
- ・学生募集要項を参照しながら、下記項目を入力して確認へ進んでください。

■インターネット出願登録の注意事項

番号	入力項目	注意事項
1	志願課程等	○志願する課程・専攻・選抜区分を選択してください。
2	出願資格	○出願資格、学校名等及びその卒業年月を入力してください。 ○出願前の出願資格審査で認定を受けた者は、その認定番号を入力してください。 ○看護師、保健師又は助産師の免許を有している者は、その免許の種類、取得年月日及び免許番号を入力してください。
3	志願者情報	○顔写真は志願者本人の写真データをアップロードしてください。 【顔写真の規格】 ・無帽、正面、本人のみの上半身、背景なし、受験時に眼鏡を着用する場合は必ず眼鏡を着用して撮影されたもの ・縦横比がおおよそ4：3で撮影されたもの ・出願前6カ月以内に撮影したもの ・カラー・白黒のどちらでも可 ・ファイルサイズ：3MB以内 ・ファイル形式：png、jpeg、jpgのいずれか ○住所は、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も省略せずに入力してください。
4	合格通知送付先	○合格通知の送付先について、「現住所」と異なる送付先がある場合は入力してください。
5	納付情報	○希望する納付方法を選択してください。 ○選択した納付情報は、インターネット出願登録完了後は変更できません。

- ・「PDF プレビュー」で内容を確認し、修正が無い場合は、「申込む」をクリックしてください。
- ・申込完了画面が表示された後、「PDF ファイルを出力する」をクリックし、入学願書、写真票・受験票を**片面印刷**してください。

【STEP 3】入学選考料の納付

入学選考料は30,000円です。

下記いずれかの方法で納付してください。

○インターネット出願登録で「キャッシュレス決済」を選択した場合

- ・「香川県電子申請・届出システム」の「申込内容照会」をクリックし、手続き名「2026（令和8）年度 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 インターネット出願登録」の「詳細」をクリックして納付へ進んでください。
- ・納付情報の「Omni Payment Gateway（NTT データ決済代行）でお支払い」をクリックし、決済方法を下記から選択して支払いへ進んでください。

（クレジットカード）

カード情報を入力すれば、決済が完了します。クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

（PayPay、au PAY、d払い）

画面に従って操作を行うと、決済が完了します。

○インターネット出願登録で「普通為替証書を購入して送付」を選択した場合

「香川県電子申請・届出システム」での操作は終了となります。ゆうちょ銀行又は郵便局にて普通為替証書を購入し、出願書類等とともに提出してください。

※香川県電子申請・届出システムから納付することはできません。

【STEP 4】出願書類等の提出

志願者は、出願書類等を一括して封筒に入れ、「**簡易書留郵便**」で郵送又は持参してください。

○提出用封筒を準備

角形2号封筒を準備し、本学ホームページからダウンロードした「宛名シート①（出願書類等提出用）」を貼り付けてください。

○提出が必要な出願書類等

出願書類等のうち、下記の摘要欄に「大学ホームページからダウンロード」と記載のある書類は、本学ホームページ（<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/admission/>）からダウンロードして印刷・記入してください。

（「本学入試情報ページ」→「入学試験 大学院 入試について」→

「看護学専攻 博士後期課程」→「募集要項・出願書類」）

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
入学願書	◎	◎	（香川県電子申請・届出システムからダウンロード） 入学願書を 片面印刷 してください。
履歴書	◎	◎	（大学ホームページからダウンロード） 「Ⅶ 入学願書等の記入要領」を参照して、必要事項を記入してください。

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
写真票・受験票	◎	◎	(香川県電子申請・届出システムからダウンロード) 写真票・受験票を 片面印刷 してください。
卒業・修了 (見込) 証明書	◎	◎	最終出身学校等の長が作成したものを提出してください。なお、本学を修了見込の者は提出する必要はありません。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
成績証明書	◎	◎	最終出身学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
修士の学位等授与 (見込) 証明書等	○	○	「Ⅲ 出願資格」の1-(2)で出願する者が提出してください。 学位授与機関が発行した授与(見込)証明書を提出してください。
志 願 理 由 書	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 本研究科への志望動機を記述してください。
修士論文要旨	○	○	修士論文がある場合は、修士論文の要旨を提出してください。 (A4判用紙に横書きで2,000字以内にまとめたもの)
修士学位取得後の 研究業績調書	○	○	修士の学位取得後、その成果をどのように公表してきたのか、どのような研究に発展させてきたのか等について記述して提出してください。 (A4判用紙1枚程度に横書きでまとめたもの)
研究計画案	◎	◎	研究計画の概要を提出してください。 (A4判用紙に横書きで1,200字程度にまとめたもの)
在 職 期 間 証 明 書	○	◎	(大学ホームページからダウンロード) 「Ⅲ 出願資格」の1-(8)で出願しようとする者で看護師、保健師、助産師の免許を有している者又は社会人選抜で出願しようとする者が提出してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。
承 諾 書	○	○	(大学ホームページからダウンロード) 在職のまま出願しようとする者は、所属長による承諾書を提出してください。
免 許 証 の 写 し	○	○	社会人選抜で出願しようとする者又は「Ⅲ 出願資格」の1-(8)で出願しようとする者で看護師、保健師、助産師の免許を有している者が提出してください。 看護師、保健師又は助産師の免許証の写しを A4サイズに縮小 してください。 ※ 「Ⅴ 出願資格審査」で提出した場合は不要です。

出願書類等	選抜区分		摘 要
	一 般	社 会 人	
普通為替証書 (入 学 選 考 料)	○	○	入学選考料の納付方法で「普通為替証書を購入して送付」を選択した者は提出してください。 ※ 普通為替証書には何も記入しないでください。
証券送付書	○	○	(大学ホームページからダウンロード) 入学選考料の納付方法で「普通為替証書を購入して送付」を選択した者は提出してください。
受験票返送用封筒	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 長形3号封筒を準備し、宛名シート②(受験票返送用)を貼り付けてください。宛名シートには、住所、氏名、郵便番号を記入し、切手を貼付してください。手続き完了後、受験票を返送します。
出 願 書 類 等 チェックシート	◎	◎	(大学ホームページからダウンロード) 出願書類等に不足がないか確認し、チェックして提出してください。
※1 ◎印は全員必須、○印は該当者のみ提出する書類です。 ※2 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。それが困難な場合は、相談してください。 ※3 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を貼付してください。 ※4 婚姻等による改姓により、現在の氏名と卒業証明書、免許証等の氏名が相違する場合は、戸籍抄本を提出してください。ただし、「V 出願資格審査」で提出した場合は不要です。 ※5 日本国籍を有しない者は、入学に際して、別途提出いただく書類があります。			

3 出願先

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当 (TEL 087-870-1212)

4 出願上の注意

- (1) 出願書類等に不備がある場合は、受理できませんので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) **受理した出願書類等及び入学選考料は、理由のいかんを問わず返還しません。**
- (4) インターネット出願登録完了後は、出願事項(志願課程等)の変更は認めませんので、注意してください。
- (5) 出願手続を完了した者には、受験票を郵送します。

なお、2025（令和7）年10月14日（火）になっても受験票が届かない場合は、前記「3 出願先」に電話で照会してください。

- (6) 障がいがある等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、2025（令和7）年9月17日（水）までに、あらかじめ前記「3 出願先」に連絡し、相談してください。
- (7) 出願書類から取得した個人情報は、入学試験に係る資料としてのみ利用し、取得した個人情報第三者に提供することはありません。

VII 入学願書等の記入要領

◎ 共通事項

- ・ ※印の欄には、記入しないこと。
- ・ ※印の欄を除き、各書類の注意事項等にそって必要事項を入力・記入すること。
- ・ 記入に当たっては、黒色のペン又はボールペンを使用し、楷書ではっきりと記入すること。パソコン入力可能な出願書類等については、パソコンで入力した書類等の提出を認めます。
- ・ 香川県電子申請・届出システム及び大学ホームページからダウンロードする出願書類等は、**A4用紙に片面印刷**してください。

○ 入学願書

- ・ インターネット出願登録後、志願者情報（氏名・住所・電話番号等）に誤りがあった場合は、該当箇所を二重線で消し、赤字で修正後の内容を記入すること。なお、香川県電子申請・届出システムでの登録内容の修正はできません。

○ 履歴書

- ・ 西暦で入力すること。
- ・ 学歴は、高等学校卒業から入力し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで入力すること。職歴がある場合は、勤務先等を入力すること。なお、欄が不足する場合は、別紙として添付すること。

○ 写真票・受験票

- ・ 写真票・受験票・確認事項は切り離さないで提出すること。

○ 出願資格審査申請書

- ・ 「フリガナ」は必ず記入すること。
- ・ 西暦で記入すること。
- ・ 「履歴事項」欄の「学歴」は、高等学校卒業から記入し、大学は学部・学科（課程・専攻）名まで記入すること。職歴がある場合は、勤務先等を記入すること。なお、欄が不足する場合は、別紙として添付すること。

また、看護師、保健師、助産師の免許を有している者は、「免許」欄に取得年月日及び免許番号を記入すること。

- ・ 「現住所」及び「審査結果通知先」欄は、都道府県名から正確に記入し、アパート名、号室等も

省略せずに記入するとともに、郵便番号を必ず記入すること。また、提出後に変更があった場合は、直ちに連絡すること。

なお、「審査結果通知先」が「現住所」と同じ場合は、「同上」と記入すること。

- ・ 誤って記入した場合は、該当箇所を二重線で消し、赤字で修正後の内容を記入すること。

上記の他、各書類等に記載している注意事項に従って記入すること。

VIII 選抜方法等

入学者の選抜は、学力試験（専門科目、英語）及び面接の結果並びに出願書類等を総合して、総合得点で可否を判定します。

なお、総合得点が同点の場合は、専門科目の点数が高い者を優先します。

1 試験科目等

科目等	配点	備考
専門科目	200	専攻に関する専門的な問題
英語	100	専攻に関する専門的な問題 ＊英和辞書1冊の持込可（電子辞書は不可）
面接	100	個人面接

※ 配点は、一般選抜と社会人選抜では異なります。

区分	科目等	配点
一般選抜	専門科目	200
	英語	100
	面接	100
	合計	400
社会人選抜	専門科目	225
	英語	75
	面接	100
	合計	400

※ 社会人選抜は、一般選抜と同様に、専門科目は200点満点、英語は100点満点で採点し、専門科目を1.125倍とし、英語を0.75倍とします。

2 試験日程（一般選抜・社会人選抜共通）

試験日	試験科目等	時間
2025（令和7）年 10月18日（土）	受験者集合	9:00
	注意事項等連絡	9:00 ～ 9:15
	専門科目	9:20 ～ 10:50
	英語	11:10 ～ 12:10
	昼食	12:10 ～ 13:00
	受験者集合	13:00
	面接	13:10 ～

3 受験上の注意事項

- (1) 入学試験当日は、午前9時までに試験室に入り、受験票を机の上に置いて着席してください。
なお、受験票を忘れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- (2) 集合時間に遅刻した場合は、学力試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長及び面接試験における遅刻は認めません。
なお、面接は受験者ごとに開始時間が異なりますので、注意してください。
また、学力試験を受験しなかった者は、面接を受けることはできません。
- (3) 試験会場では、監督者の指示に従ってください。
- (4) 机の上には、受験票・HB又はBの鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）・英和辞書1冊（英語の試験のみ（電子辞書の持込みは不可））以外のものは置かないでください。
- (5) 携帯電話、スマートフォン等は、電源を切ってカバンの中にしまっておいてください。
- (6) 昼食（飲み物を含む）は各自で準備してください。学内の自動販売機は利用できません。

4 試験会場

香川県立保健医療大学

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

※1 試験会場は、最終ページの**入学試験会場案内図**を参照してください。

※2 試験会場の下見はできますが、建物内への立入りはできません。

※3 合否電報・電話の取扱い等の勧誘をする者があっても、**本学とは一切関係がありません。**

Ⅸ 合格発表

1 発表日・発表方法

2025（令和7）年10月24日（金）午前9時に、香川県立保健医療大学 アプローチ広場掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には、文書で通知します。

また、本学のホームページ（<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>）上においても、合格者受験番号を掲載します（同日午前9時過ぎの予定）。

なお、ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格発表は、本学掲示板、合格通知書で行います。

2 追加合格

入学手続き者が入学定員に満たなかった場合には、追加合格を行うことがあります。

追加合格は、2025（令和7）年10月31日（金）午後5時以降、該当者あてに入学願書に記載された連絡先に電話で通知します。この電話連絡は、2025（令和7）年11月4日（火）までに行うよう配慮しますので、この期間は、入学願書の連絡先に所在する等、本人と直接連絡が取れるようにしておいてください。

なお、追加合格者の入学手続等については、追加合格通知時に指示します。

3 その他

- (1) **電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。**
- (2) 合否以外の受験に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。
- (3) 入学試験成績の情報提供については、受験者本人の請求に基づき、次の要領により提供します。

- ・請求期間

2025（令和7）年10月24日（金）～2025（令和7）年11月25日（火）（土曜、日曜及び祝日を除く。）

- ・提供内容

科目別得点及び総合得点

- ・請求方法

受験者本人が、本学事務局窓口の本学の受験票を持参のうえ、請求してください。（受付時間は、9：00～12：00 及び 13：00～17：00 です。）

X 入学手続等

1 入学手続の期間

2025（令和7）年10月29日（水）から10月31日（金）まで

- ・郵送する場合 10月31日（金）**午後5時必着**とします。
- ・持参する場合 受付時間は午前9時から午後5時までとします。

2 手続場所

〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当（TEL 087-870-1212）

3 入学手続

- (1) 上記2の場所へ、「4 提出書類等」を一括し、簡易書留扱いの郵便又は直接持参により提出してください。
- (2) 上記1の期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (3) 入学手続を行うのは、代理人でも差し支えありません。
- (4) **入学金は、納入後、理由のいかんを問わず返還しません。**
- (5) 詳細については、合格通知時に通知します。

4 提出書類等

- (1) 誓約書(本学所定様式)
- (2) 卒業(修了)証明書(卒業(修了)見込みで受験した者は、卒業(修了)証明書を別途指示する日までに提出すること。)
- (3) 学位授与証明書(学位授与見込みで受験した者は、別途指示する日までに提出すること。)
- (4) 入学金の領収書のコピー
- (5) 縦4cm×横3cmの同じ写真2枚(正面上半身無帽、背景なし、最近6か月以内に撮影したもの、カラー、裏面に専攻名・氏名を明記したもの。)
- (6) ア 本人が2025（令和7）年4月1日以前から香川県内に住所を有している場合
本人の住民票（マイナンバーの表示がないもの）
イ 本人の配偶者又は一親等の親族が2025（令和7）年4月1日以前から香川県内に住所を有している場合
配偶者又は一親等の親族の住民票（マイナンバーの表示がないもの）及び本人との関係を証明する戸籍抄本

5 入学金（予定金額）

- (1) 県内者 197,400 円
- (2) 上記以外の者 366,600 円

※ 「県内者」とは、2025（令和7）年4月1日以前から引き続き香川県内に住所を有する者並びにその配偶者及び一親等の親族をいいます。

6 授業料（予定金額）

- (1) 年額 535,800 円
- (2) 各年度に係る授業料は、前期及び後期の2学期に区分して納付するものとし、それぞれの学期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とします。
 - ① 前期納付期限 4月末日 (267,900 円)
 - ② 後期納付期限 10月末日 (267,900 円)
- (3) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

7 授業料等減免制度

経済的理由その他やむを得ない事情により授業料等の納付が困難であり、かつ学業成績が優秀であると認めた学生に対し、授業料等の全部又は一部を免除する制度等があります。

8 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構による奨学金には、第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）の制度があります。

- ・ 第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者

貸与月額（2025（令和7）年度） 80,000 円、122,000 円のうち希望額を選択

- ・ 第二種奨学金

優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者

貸与月額（2025（令和7）年度） 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円のうち希望額を選択

※ 詳細については、独立行政法人日本学生支援機構ホームページ(<http://www.jasso.go.jp/>)を確認ください。

9 その他の必要経費等

入学後には、教科書、教材等に係る経費及び後援会費等が別途必要になります。

後援会費については次のとおりです。

- ・ 年会費 10,000 円
- ・ 教材用経費等 3年間分 40,000 円
- ・ 納付期限 4月末日（年会費は、2年次以降も必要です。）

なお、学生は傷害事故及び賠償事故等についての保険に加入しますが、当該保険料は後援会費の中から負担します。

10 その他

学生寮はありません。

XI ホームページ

大学案内や入試情報を掲載したホームページを開設しています。

URL <https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>

XⅡ 問い合わせ先

香川県立保健医療大学事務局 教務・学生担当
〒761-0123

香川県高松市牟礼町原 281 番地 1

TEL 087-870-1212

Fax 087-870-1202

I 保健医療学研究科の基本理念・目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

II 看護学専攻のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー

1 アドミッションポリシー

実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

この教育目的を達成するために、以下の3項目を受け入れ方針とします。

- (1) 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造力」を有している人
- (2) 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
- (3) 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

2 カリキュラムポリシー

- (1) 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデル開発研究をめざし、「実践開発看護学領域」とする。
- (2) 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する。
- (3) 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する。
- (4) 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言できるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

3 ディプロマポリシー

看護学専攻博士後期では、3年以上在学し、専門共通科目(必修)6単位、専門科目(選択)2単位、演習科目(必修)2単位、特別研究科目(必修)6単位の合計16単位を修得する。かつ、必要な研究指導を計画的に受けた上で、博士論文に関する副論文1編を査読制度のある学術雑誌に、単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表し、博士論文の審査及び最終試験に合格し、下記的能力を修得した学生に対し、博士(看護学)の学位を授与する。

- (1) 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する。
- (2) 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する。
- (3) 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する。

入 試 区 分	募 集 人 数	選 抜 方 法	点 数	学力の3要素	・知識・技能, ・思考力・判断力・表現力	・主体性・協働して学ぶ態度	
				アドミッション・ポリシー	・専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造力」を有している人	・地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人	・看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人
				評価項目	独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造力」を有する	看護実践の向上と変革に使命感を有する	研究を創造的に推進できる教育的能力を有する
博 士 後 期	2 名	専門科目	200 (比重* : 50)		○		
		英語	100 (比重* : 25)		○		
		面接	100 (比重* : 25)		○	○	○

*合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合(%)

Ⅲ 看護学専攻の概要

1 専攻の名称及び構成

研究科名	専攻名	領域名
保健医療学研究科	看護学専攻	実践開発看護学領域

2 学位の名称 博士(看護学)

3 授業科目一覧

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門共通科目		看護理論学	1 前	2				○		※講義 オムニバス
		看護発展論	1 前	2				○		※講義
		看護研究方法特論	1 前	2				○		※講義 オムニバス
		小計（3 科目）	—	6	0	0	—			
専門科目	実践開発看護学領域	基盤看護科学特論	1 前		2			○		※講義 オムニバス
		地域在宅看護科学特論	1 前		2			○		※講義 オムニバス
		精神保健看護科学特論	1 前		2			○		※講義
		療養支援看護科学特論	1 前		2			○		※講義 オムニバス
		次世代育成看護科学特論	1 前		2			○		※講義 オムニバス
		小計（5 科目）	—	0	10	0	—			—
	演習科目	実践開発看護学特別演習	1 後	2				○		共同
		小計（1 科目）	—	2	0	0	—			
特別研究科目		看護学特別研究	1～3 通	6				○		
		小計（1 科目）	—	6	0	0	—			—
合計（10 科目）			—	14	10	0	—			—

4 修了要件等

修了要件は、本大学院保健医療学研究科看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

5 授業科目の概要

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 共 通 科 目	看護理論学	理論は、看護学の学術的基盤を強化し、看護実践にエビデンスを提供する上で重要である。本項では、理論とは何か、実践・理論・学体系との関連性、理論の構造など、理論について概説した後、理論の評価方法、理論の実践への応用など、理論を実践の場でどのように活用するのかについて検討する。さらに、演繹法・帰納法といった様々な推論方法を駆使してどのように新たな理論構築を行うのか、理論の構築方法について、国内外の文献を用いて探求する。最後に、看護学の哲学的基盤についても論考する。	教授 近藤真紀子 非常勤講師 兵藤好美
	看護学発展論	わが国の保健医療福祉及び看護の動向を踏まえ、看護政策の立案・提言及び実現・検証を政策形成過程として理解するとともに政策研究の方法論を修得する。この過程を通して、看護学発展を目指した政策研究を展開できる能力を獲得する。 看護政策の動向及び看護を取り巻く保健医療福祉と労働政策について概観する。政策活動に関する諸理論を学修し、実際の看護政策に関して策定の妥当性、実現の要因、影響検証等を討議し、看護政策研究過程としてまとめる。	非常勤講師 井伊久美子
	看護研究方法特論	既存の研究方法の理解及び看護学独自の方法論開発にも関心を向けつつ、博士論文の作成に必要な研究方法の選択とその適用に不可欠な理論・技術の修得を目的とする。 具体的には、研究の背景や概念の明確化の必要性認識の基、論文のクリティークやプレゼンテーション、討論等を通して、新知見を産出する研究プロセスを確認し、各自の関心課題に適用する方法論の理解と技術の選択を各自の専門分野の中に位置づけて検討する。	教授 吉本知恵 教授 木戸久美子

科目 区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専 門 科 目	実 践 開 発 看 護 学 領 域	基盤看護科学特論	地域包括ケア推進に伴い、看護職の役割拡大と看護実践の場の多様化が進むなかで、新たな看護の人材育成および技術の創造・開発について探究する。看護専門職の能力開発及び技術開発に関する理論・概念を学際的に分析・考察し、また、看護現場における人材育成や技術開発に関する問題を抽出し、その問題に関連する国内外の文献クリティークを行う。看護専門職としてのエビデンスに基づく看護の発展に向けての開発課題を明確化し、研究テーマを導くとともに、課題解決に向けた研究方法を多角的に検討する。	教 授 筒井邦彦 教 授 比江島欣慎
		地域在宅看護科学特論	地域包括ケアシステム構築のなかで、在宅療養者を含めた地域で生活する人々の複雑で多様な健康課題に応える新たな看護サービス・看護ケアシステムに関連する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、社会情勢や制度・政策の動向及び地域特性を考慮した看護を展開する上での今日的課題や問題を取り上げ、関連する国内外文献のクリティークを行い、研究課題を明確にする。研究課題の解決に向けた方法論を多角的に検討し、人々の健康生活の QOL 向上に寄与する創造的看護アプローチを展望する。	教 授 片山陽子 教 授 辻よしみ
		精神保健看護科学特論	近年、メンタルヘルスに関連した状況や課題が変化し、専門家に求められることが多様化している。このような状況において、人が精神を病むということに真摯に向き合うことによって、精神と身体、個人の資質、取り巻く環境等が、関連していることを学術的に探究する。さらに、自分と対象者に生じる関係性について深く着目し、自己洞察を深めながら、独創性のある精神看護について考察し、効果的な実践方法について検討する。	教 授 則包和也
		療養支援看護科学特論	いかなる療養の場においても、療養上の看護支援を必要とする成人期や老年期の人々の支援に関する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、療養上の看護支援を必要とする成人期や老年期の人々の看護実践上の課題を取り上げ、その課題に関連する文献クリティークを行い、QOL を高めることを志向した新たな看護実践方法の開発課題を明確化し研究テーマを導くとともに、研究課題の開発に向けた方法論の検討を行い新たな看護実践方法の創出に向けて展望する。	教 授 吉本知恵 教 授 近藤真紀子 准教授 岩本真紀

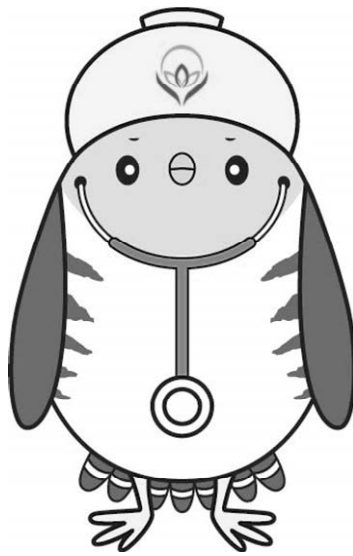
科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
専門科目	実践開発看護学領域	次世代育成看護科学特論	生涯を通じた女性及び母子とその家族の健康生活支援のために、性と生殖に関連した女性及び母子とその家族の看護、子育て支援に関する理論・概念を学際的に探究・分析する。また、ライフサイクル各期における女性及び母子とその家族の健康問題や子育て支援に関する課題を取り上げ、その課題に関連する文献クリティークを行い、新たな看護実践方法の開発課題を明確化し研究テーマを導くとともに、研究課題の開発に向けた方法論の検討を行い独創的な看護実践方法の創出に向けて展望する。	教授 木戸久美子 教授 枝川千鶴子 教授 植村裕子
	演習科目	実践開発看護学特別演習	看護実践に役立つ新たなモデルの創出・開発に向けて、研究課題に関する文献検討ならびに課題の検討、保健医療及び看護の制度・政策との関連、課題解決のための方法論についてプレゼンテーションを行い、ピアレビューを受ける。研究の意義について、看護学及び看護実践の発展への重要性と妥当性、独創性と新規性、実践的有用性、地域や組織の看護実践及び看護政策への波及効果の検討の点から明確にする。さらに博士論文としての研究目標を明確にして研究方法の妥当性と実現可能性についても検討する。他の特論を選択している学生及び当該学生の研究指導教員を含めた授業担当教員全員を対象にプレゼンテーションを行い、発展的な討論を通して高度な創造・開発能力を涵養する。 ゼミナール形式で、学生が研究の進捗状況や課題をプレゼンテーションし、他の特論を選択している学生及び当該学生の研究指導教員を含めた授業担当教員全員と討論しながら研究課題を修正し、完成度の高い研究計画書の作成を目指す。そのプロセスにおいて、企画構成力、説明説得力、表現力、発言力等が発揮できるように取り組む。 当該学生の研究指導教員は、研究課題に関する文献検討ならびに課題の検討、課題解決のための方法論の指導をする役割を持つ。授業担当教員は、より完成度が高い研究計画書の作成ができ学生が授業目標を達成できるように、研究の実践的有用性と実現可能性、独創性と新規性等の観点から本授業において質問やアドバイスを発展的に行う。	教授 片山陽子 教授 吉本知恵 教授 近藤真紀子 教授 木戸久美子 教授 辻よしみ 教授 則包和也 教授 佐々木純子 教授 筒井邦彦 教授 比江島欣愼 教授 枝川千鶴子 教授 小野美穂 教授 呉 小玉 教授 植村裕子 准教授 岩本真紀

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特 別 研 究 科 目	看護学特別研究	(概要) これまで学修した専門共通科目、専門科目、演習科目の学修成果を統合させ、看護学特別研究では、専門分野における自らの研究課題を明確に決定し、自らの研究成果によって実践科学である看護学の体系化に貢献する研究力を涵養し、新規かつ独創的な研究計画書を立案する。この過程を通して、自律的に完成度の高い研究計画書を立案する能力を自ら育成する。そして、研究倫理に沿って研究過程を推進しながら、博士論文に関連する副論文を学会誌に投稿し、査読を受けて論考する能力を修得し、学会誌が求める水準に到達した論文の掲載を達成する。また、研究過程に関する学術セミナーでのプレゼンテーション、討議、研修を通して博士論文完成に向けて課題を明確にする。この過程を通して、自律した研究者としての研究力、研究成果を論文作成し発表する能力を自ら育成する。 最終的に、看護学の発展に貢献する新規性・独創性・波及効果の高い博士論文を完成する。この過程を通して、看護学を体系化するための看護学研究を自律して推進できる能力、看護の質向上に向けての看護実践の改革や看護政策に貢献できる能力を自ら育成する。 在宅看護学の学術・実践に資する課題を取り上げ、概念化や実践モデル、ケアシステムの開発と評価などの研究に関する研究指導を行う。 主な研究課題 (1)在宅療養・看護実践に係る概念化に関する研究 (2)在宅療養者と家族への支援に関する研究 (3)Advance Care Planning、意思決定支援に関する研究 公衆衛生看護活動の実践や教育を通して、導き出された課題について科学的根拠を探究する研究指導を行う。 主な研究課題 (1)保健師の実践能力獲得に関する研究 (2)子育て支援プログラムを活用した保健師研修プログラムの開発 病いを有する患者とその家族に対する新たなケアの創造、看護実践の概念化・システム化を目指し、実践の場に還元できる研究指導を行う。 主な研究課題 (1)質的研究と理論構築 (2)病いを有する患者と家族の体験に関する研究 (3)看護実践能力の概念化に関する研究 (4)ハンセン病と倫理に関する研究	教 授 片山陽子 教 授 辻よしみ 教 授 近藤真紀子

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特 別 研 究 科 目	看護学特別研究	人と人が対面で関わる際の相互作用と、精神疾患が人間の認知や感情に及ぼす影響について、多角的な視点で捉え、効果的な支援を検討し、実践する研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 治療的コミュニケーションを活かした精神看護の研究 (2) 認知行動療法を取り入れた精神看護の研究	教 授 則包和也
		女性とその家族の生涯にわたる健康に関する課題を取り上げ、女性（知的障害のある女性も含む）の性と生殖に関する健康支援（性教育等）や発達障害児等の育児で困難感を伴う母親の精神面の健康とその支援に関する研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 女性（知的障害のある女性も含む）の性と生殖に関する健康支援（性教育等）に関する研究 (2) 育児困難感のある母親の精神面の健康支援に関する研究	教 授 木戸久美子
		あらゆる健康レベルの子どもと家族に対する看護支援の課題を取り上げ、実践への還元を目指した研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 在宅移行期における子どもと家族の支援に関する研究 (2) ハイリスク新生児と家族の看護に関する研究	教 授 枝川千鶴子
		妊娠前の女性、妊産婦、出産後の女性とその家族を中心にしたケアにおける課題を取り上げ、より専門性の高いケアの実現を目指し、研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 周産期における健康支援に関する研究 (2) 母性看護学・助産学における教育手法に関する研究	教 授 植村裕子
		看護学教育・看護教育学に関する研究課題を取り上げ、学術的、実践的質向上に資する研究指導を行う。また、患者教育やピアサポートに関する課題も扱う。 主な研究課題 (1) 看護学教育・看護教育学に関する研究 (2) ピアサポートに関する研究	教 授 小野美穂

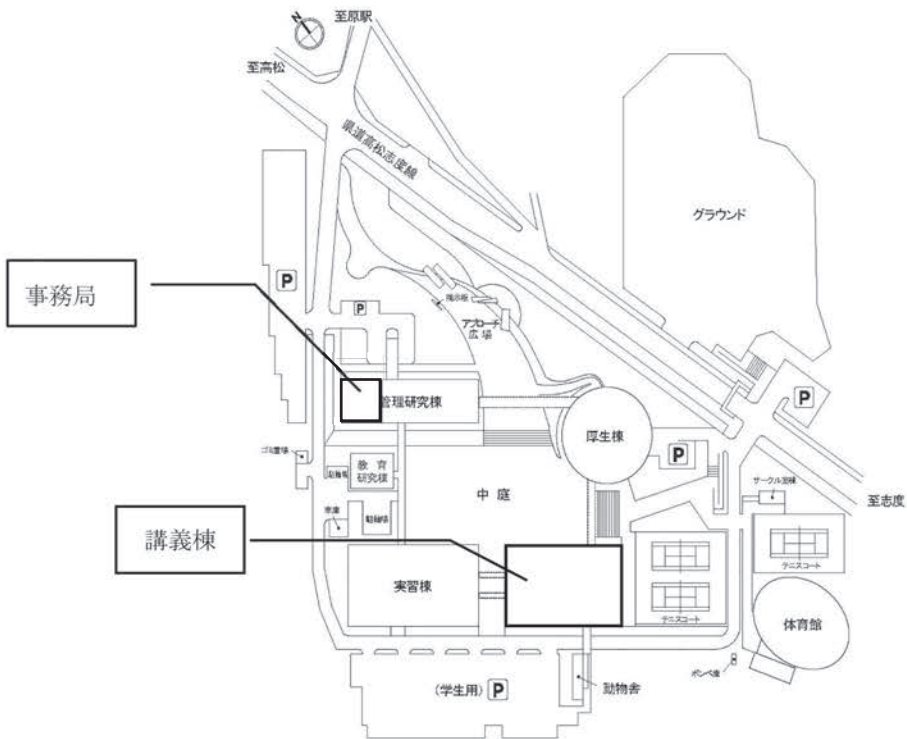
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	担当教員
特 別 研 究 科 目	看護学特別研究	自然と生命が一体化した中医学に基づく自然生命力の現象分析や健康問題を取り上げる。実践に根ざした問題解決の方法を開発し、国際地域的な健康の向上に寄与する研究を独立して行う能力を養う。 主な研究課題 (1) 自然と生命の不可分な視点による学生の健康自主管理意識の形成モデルの開発 (2) 現代医療と伝統医療を統合する視点からの、地域高齢者の孤独感の緩和および認知症予防プログラムの開発 (3) 中医学の五臓と五情（怒・喜・思・憂・恐）の関係性を応用した各種疾病リスク予測ツールの開発	教授 呉 小玉
		ベッドサイドで用いることができる医療機器、特に超音波検査機器を用いた研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 胃瘻患者等における胃蠕動に関する研究 (2) 消化管機能異常への超音波機器による評価に関する研究	教授 筒井邦彦
		データサイエンス(統計学)や疫学の知識を利用し、日々蓄積される医療保健関連データや適切に計画された研究により収集されたデータから、保健医療分野において有益な情報・エビデンスを導出することを目指し研究指導を行う。 主な研究課題 (1) 医療保健に関連する量的研究全般(ただし、研究テーマの設定とデータ収集のフィールド確保は院生が準備すること)	教授 比江島欣愼
		臨床現場における看護実践に関する課題を取り上げ、新たなケアの開発をめざし、実践の場に貢献できる研究指導を行う。 主な研究課題 (1) がんサバイバーの体験および看護支援に関する研究 (2) 臨床看護師への教育支援に関する研究	准教授 岩本真紀

大学までの交通案内



- 西方面から
高松から 国道11号 車で30分
ことடன்志度線原駅下車 徒歩10分
- 東方面から
JR高德線 志度駅から 車で5分

入学試験会場案内図





香川県立保健医療大学

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281番地 1

TEL 087-870-1212

ホームページ

<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>